

編集後記

第二回の構造色シンポジウムの時（2001年11月開催）講演の概要集として編集したのが第一号の会誌 Structural color でした。幸い、シンポジウムの後にも、多くの方々から御請求を頂き、潜在的な構造色研究のニーズを強く感じておりました。その第一号からは、かなりの時間が経ってしまいましたが、今回皆様方のご協力のおかげで、なんとか第二号の発行に至りました。

今号は、2002年10月に行われた、科学研究費特定研究 A「分子シンクロ材料」ミニシンポジウム（第三回の構造色シンポジウム）での講演概要が中心になっております。執筆者の皆様方には、ご多忙の中原稿依頼を引き受けていただき、本当にありがとうございました。その他の新企画として、海外報告と連載記事を始めました。連載記事の開始には実は魂胆がありまして、それは第三号を作るきっかけになること、そして同時に記事を確保しようとの狙いからです。実際、連載記事は次回あたりが、構造色にとっての山場になるのではないのでしょうか。

今号は大学に関係した方々の記事が多くなりました。しかし、構造色が関係している幅広い分野を思い起こすと、次号あたりは応用的な側面にも焦点をあてて、企業の方から原稿を募ろうか、と思案しています。

印刷の諸事情で、片面印刷のページと両面印刷のページが混在しています。また、印刷の乱れが残っているかもしれませんが、なにぶん自前で印刷・コピーしていますので、どうかご容赦ください。

最後になりましたが、ご多忙の中執筆いただきました方々にあらためて深謝いたします。

（'03 6月12日 大阪大学 吉岡伸也）

構造色研究会誌

Structural Color 第2号（平成15年6月12日発行）

発行 構造色研究会

連絡先

560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-1

大阪大学生命機能研究科 非平衡物理学研究室

電話 & FAX 06-6850-5366